

私たちの暮らしと現代社会

学習1 つながる私たちと世界

□グローバル化が進む現代社会では、貿易やインターネットの普及で、世界中の商品や情報を簡単に手に入れることができます。また、多くの分野で外国人労働者が活躍する場面が増えています。それぞれの国が得意なものを生産し、貿易によって交換し合う国際分業が進んでいます。

□環境問題や人権問題などの解決には、国際協力が必要です。

用語 * グローバル化…人、もの、お金、情報などが国境を越えて行き交うことで、世界の結びつきが深まること。

学習2 急速に進展する情報社会

□情報通信技術（ICT）の発達によって、世界中の人々と自由にコミュニケーションをとり、多様な情報を入手・発信できるようになっています。社会において情報が果たす役割が大きくなっていく情報化が進んでいます。一方で、情報機器をあつかえる人とそうでない人とのデジタルデバインド（情報格差）の問題も起きています。

□情報化はさらに進み、人工知能（AI）技術の進化やビッグデータの分析が、産業や生活、防災に活用されています。

□SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の広まりで、自分に必要な情報を選びだし、正しいかどうかを判断するメディアリテラシーや、情報を発信するときのモラルが求められるようになりました。インターネットを利用した犯罪も増えているので、不用意に個人情報を明かさないうち注意が必要です。

学習3 誰もが活躍できる社会へ

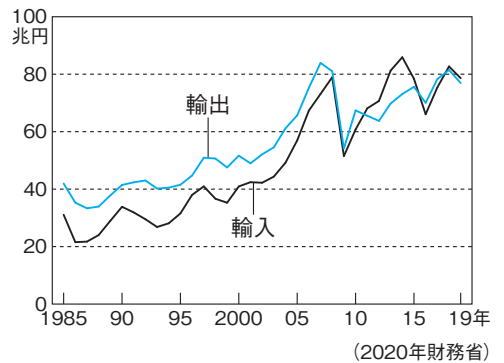
□現代の日本では、一人の女性が生む子どもの数（合計特殊出生率）が減少する少子化と、平均寿命が延びたことで人口に占める65歳以上の人（高齢者）の割合が高くなる高齢化が、同時に進んでいます。

□少子高齢化が進んだことで、日本は、総人口に占める老年人口の割合が27%を超える超高齢社会になりました。また、総人口は減少に転じました。

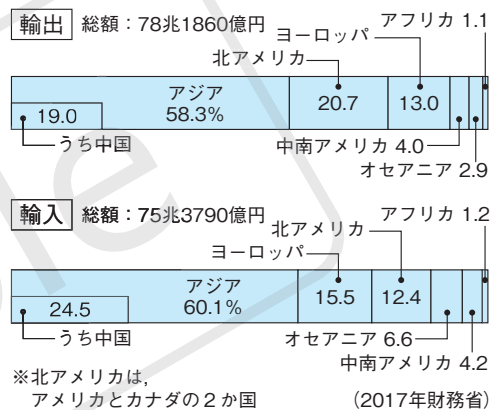
□少子化で働く世代が減る一方、高齢化で年金や医療保険への支出が増えるため、社会を支える一人当たりの負担が増えています。

□家族の形は多様化し、親と子ども、あるいは夫婦のみの核家族世帯や、一人暮らしの単独世帯が増えています。

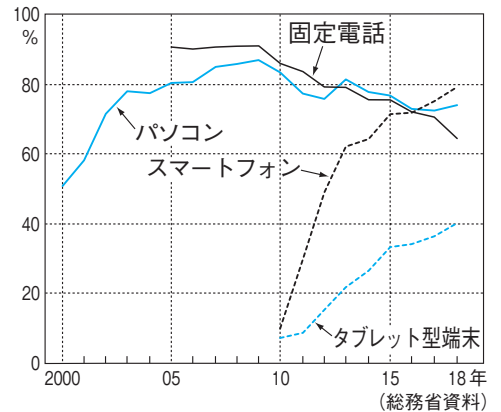
▼日本の輸出額と輸入額の推移



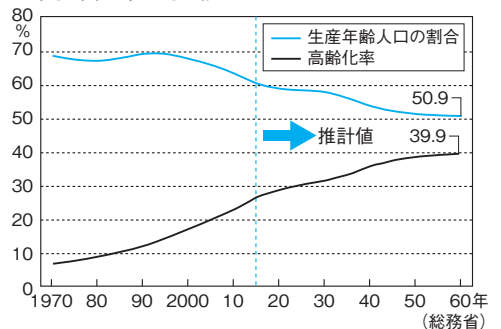
▼地域別の貿易額の割合



▼主な情報通信機器の保有率の推移



▼総人口における生産年齢人口の割合と高齢化率の推移



学習4 豊かな生活を実現するために

- 科学や科学技術の発展は、人々の生活を向上させてきました。近年の情報や医療の分野での**技術革新**は、生活をより便利なものにしてしています。その一方で、科学・技術には、環境破壊など私たちの生命や生活をおびやかしかねない一面もあります。
- 宗教は、悩みや不安に対する心の支えになります。日本は宗教に寛容な国で、古くからの自然崇拝（アニミズム）や祖先信仰のほか、さまざまな宗教を受け入れてきました。その多様性は、冠婚葬祭や年中行事からも分かります。
- 芸術は、人々に感動や喜びをあたえ、創造力を養う力があります。
- 科学、宗教、芸術のほか、日常の衣食住に関わるすべてが文化です。

学習5 伝統文化の継承と文化の創造

- 長い年月にわたって伝えられ、受け継がれてきた、有形・無形の文化が**伝統文化**です。少子高齢化や過疎化で存続が危ぶまれる文化もあり、国や都道府県などは文化財保護法に基づいて有形・無形の文化財の保護に努めています。
- 情報化やグローバル化が進む中、伝統文化を大切にしながら、異文化への理解も深めることが、新たな文化の創造につながります。

学習6 さまざまな人と生きる

- 私たちは、家族や学校、**地域社会**といった**社会集団**の中で生活し、ほかの人とともに生きることで成長していくことから、**社会的存在**であるといわれています。
- 社会集団の中では、考え方や意見の違いから**対立**が起こることがあります。対立が起きた場合、私たちは話し合いなどを通して**合意**を目ざします。合意して**ルール**やきまりをつくることは**契約**と同じで、契約とルールには、**責任**と**義務**を明記することが重要です。
- 話し合いには、全員で話し合う方法や代表者が話し合う方法があります。決定の方法には、多数決や全会一致があります。

学習7 誰もが大切にできるルールとは

- ルールやしくみをつくるためには、**効率**と**公正**という2つの考え方に配慮することが大切です。

学習8 よりよい社会を築くために

- 対立と合意を繰り返しながら、よりよいルールをつくっていくことが大切です。
- 契約やルールでは、一方的に押し付けるのではなく、**個人の尊重**が大切です。自分の権利を守るには、相手の権利も尊重しなければなりません。

▼年中行事

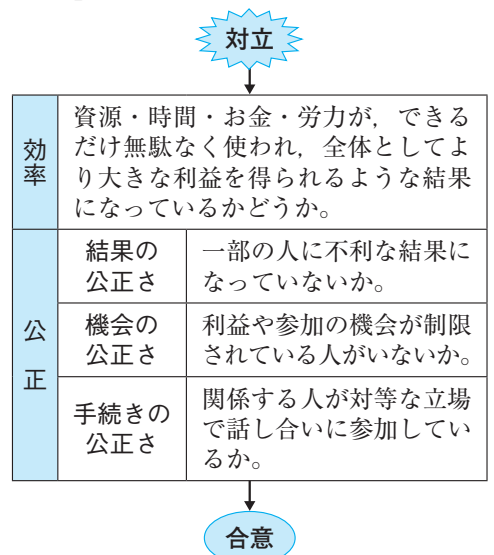
1月	正月・初詣
2月	節分・バレンタインデー
3月	桃の節句・ひな祭り・お彼岸
4月	花見・花祭り
5月	端午の節句・しょうぶ湯
6月	夏至
7月	七夕
8月	お盆
9月	菊の節句・十五夜・お彼岸
10月	秋祭り・ハロウィーン
11月	七五三・新嘗祭
12月	冬至・クリスマス・大晦日

※花祭りはブツダの誕生を祝う日、クリスマスはキリストの誕生を祝う日です。

▼話し合いと決定の主な方法

方法	●長所 ▲短所
全員一致まで話し合う	●全員が納得できる。 ▲決定するまで時間がかかることもある。
代表者が話し合う	●全員一致よりは決定が早い。 ▲必ずしも全員の意見が反映されない。
第三者が一人で決定	●決定が早い。 ▲当事者の意見が反映されない場合がある。
多数決	●決められた時間の中で、より多くの人の意見が反映できる。 ▲少数意見が反映されにくい。

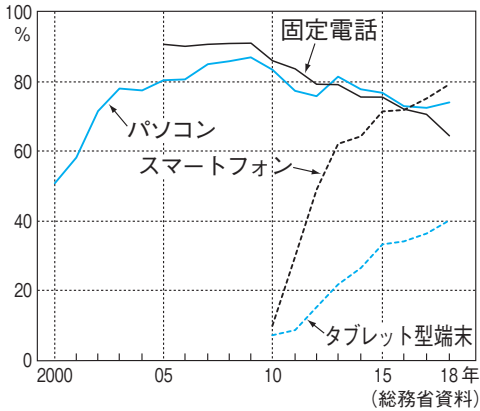
▼効率と公正をふまえた対立から合意へのプロセス



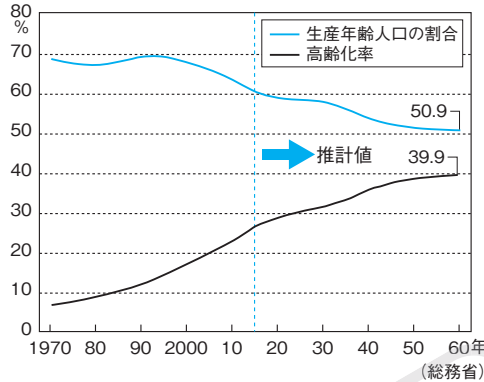
基本問題

1 次のグラフを見て、あとの問いに答えなさい。

グラフA 主な情報通信機器の保有率の推移



グラフB 総人口における生産年齢人口の割合と高齢化率の推移



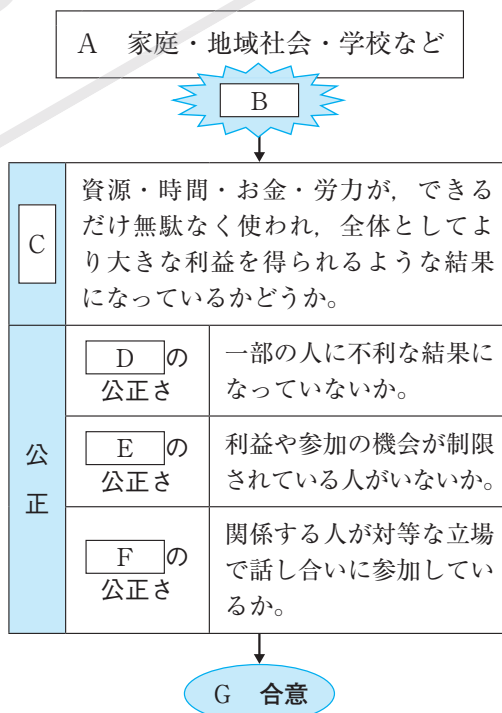
1

(1)	
(2)	
(3)	A
	B

- (1) グラフAのような情報通信技術のことをアルファベットで何というか。
- (2) 世界保健機関や国際連合の定義では、総人口に占める65歳以上の割合が7%以上は高齢化社会、14%以上は高齢社会、21%以上は超高齢社会とされている。グラフBから現在の日本はどれにあてはまると読み取れるか。
- (3) グラフA・Bの現象が社会に与えた影響を、次のア～エから選びなさい。
- ア インターネットを利用した犯罪が増えている。
 - イ 社会を支えるための一人当たりの負担が増えている。
 - ウ 海外に工場を移す日本の企業が増えている。
 - エ 公共施設や交通機関で、多言語の表示が増えている。

2 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 図中のAのような集まりを何というか。
- (2) 図中のBは、考え方や利害が異なることで発生する。Bにあてはまる語句を書きなさい。
- (3) 図中のCにあてはまる語句を書きなさい。
- (4) 図中のD～Fにあてはまる語句を、次のア～エから選びなさい。
- ア 機会 イ 結果
 - ウ 変更 エ 手続き
- (5) 次の①・②の決定のしかたの短所を、あとのア～エから選びなさい。
- ① 全会一致 ② 多数決
 - ア 状況が変わっても変更できない。
 - イ 少数意見が反映されにくい。
 - ウ 当事者の意見が全く反映されない。
 - エ 時間がかかることがある。
- (6) 図中のGの結果、つくられた取り決めを何というか。カタカナで書きなさい。



2

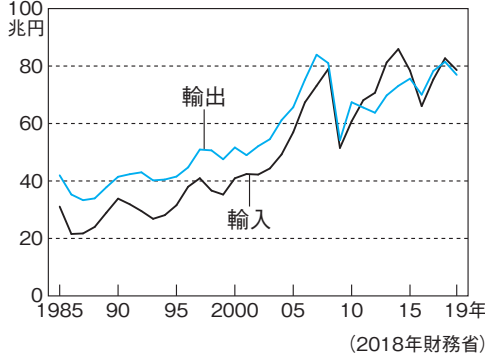
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	D
	E
	F
(5)	①
	②
(6)	

練習問題

1 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) グラフ1を見て述べた文として誤っているものを、次のア～エから選びなさい。
 ア 1985年から2005年の間は、ずっと輸出超過だった。
 イ 2005年から2010年の間に、輸出額も輸入額も大きくおちこんだ年がある。
 ウ 2010年から2015年の間は、輸入超過の年が多かった。

グラフ1 日本の輸出額と輸入額の推移



1

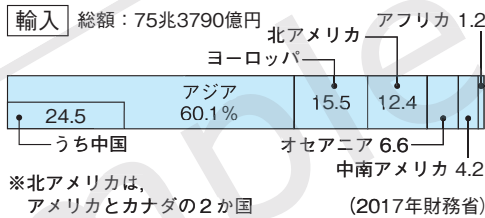
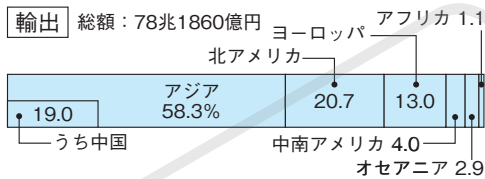
(1)	
(2)	①
	②
	③
(3)	a
	b

エ 2015年は、輸出額も輸入額も、1985年の2倍以上になった。

(2) グラフ2を見て、次の問いに答えなさい。

- ① 輸出が最も多い地域はどこか。
 □② 輸入が最も多い地域はどこか。
 □③ 北アメリカとの貿易では、日本の輸出額・輸入額のどちらが多いか。
 □(3) 次の文の下線部①・②を何というか。

グラフ2 地域別の貿易額の割合



「①世界の一体化が進んだことで、②各国が生産性の高い商品を生産してたがいに貿易で交換し合うことが活発になった。」

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

21世紀は、①ICTの発展によって、社会の中で情報のもつ価値が高まり、②情報を中心にした社会に変化してきた。家電製品が（ ① ）でつながれて遠隔操作できるIoTが生活に取り入れられたり、（ ② ）からの位置情報などの③膨大なデータを④人工知能で分析して防災に役立てたりすることも行われるようになった。

一方で、情報の利用には⑤メディアリテラシーが欠かせない。また、（ ③ ）・ネットワーク・サービスで情報を発信するときは、むやみに（ ④ ）を明かさないようにし、ほかの人を傷つける内容や、不確かな内容は発信しないなど（ ⑤ ）を守ることが大切である。

□(1) 文中の（ ① ）～（ ⑤ ）にあてはまる語句を、次のア～カから選びなさい。

- ア 個人情報 イ スマートフォン ウ デジタルディバイド
 エ ソーシャル オ インターネット カ モラル

- (2) 下線部①は何の略称か。
 □(3) 下線部②を何というか。
 □(4) 下線部③をカタカナで何というか。
 □(5) 下線部④をアルファベットで何というか。
 □(6) **表現力** 下線部⑤はどういう能力か。「情報」、「判断」の語句を使って書きなさい。

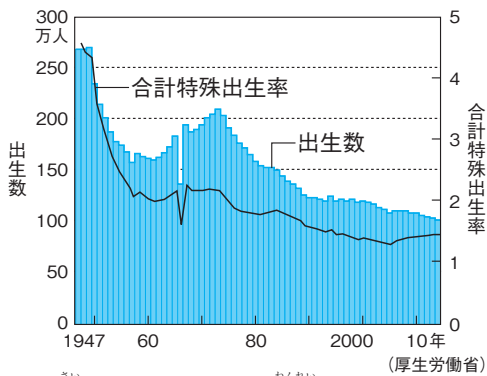
2

(1)	①
	②
	③
	④
	⑤
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	

③ 右のグラフを見て、次の問いに答えなさい。

- (1) グラフのように、生まれる子どもの数が減っていることを何というか。
- (2) 合計特殊出生率が減っている原因として考えられることを、次のア～エから2つ選びなさい。
 ア 結婚しない人が増えたこと。
 イ 平均寿命が延びたこと。
 ウ 祖父母と同居する家族が増えたこと。
 エ 仕事と子育てを両立する環境が整っていないこと。

子どもの出生数と合計特殊出生率の推移



15歳から49歳の女性の、年齢別の出生率を合計した指標を、合計特殊出生率という。
(厚生労働省)

- (3) **表現力** グラフから考えて、今後日本の総人口はどうなっていくと考えられるか。

④ 次の表を見て、あとの問いに答えなさい。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
正月 初詣	A	桃の節句 お彼岸	花見 花祭り…ア	B	夏至	C	お盆…イ	菊の節句 十五夜 お彼岸	秋祭り ハロウィーン	D 新嘗祭…ウ	クリスマス…エ 大晦日

- (1) 表のように、毎年同じ時期に行われる行事を何というか。
- (2) 表中のA～Dにあてはまる行事を、次のア～エから選びなさい。
 ア 七夕 イ 端午の節句 ウ 七五三 エ 節分
- (3) キリスト教に関係の深い行事を、表中のA～Eから選びなさい。
- (4) 次の文中の (①)・(②) にあてはまる語句を書きなさい。
 「古くから受けつがれてきた日本の (①) 文化を守るために、(②) 保護法が制定された。」
- (5) 次の文化の領域を何というか。
 □① 医療や交通、通信などの技術を支える理論。
 □② 人の心の支えとなる、死後の世界や神についての教え。
 □③ 人の心を豊かにする、音楽や絵画、演劇など。

⑤ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

私たちは (①) 集団の中で成長していく (①) 的存在である。集団の中で (②) が生じた場合は、話し合いなどで (③) を形成し、解決していく。ルールを決めるときは (④) の尊重が大切である。多数決は□□という長所があるが、少数意見が反映されにくいという短所もあるので、関係する人が対等な立場で話し合う手続きの (⑤) さが確保されていることが望ましい。

- (1) 文中の (①)～(⑤) にあてはまる語句を、次のア～カから選びなさい。
 ア 個人 イ 社会 ウ 効率 エ 公正 オ 合意 カ 対立
- (2) **表現力** □□にあてはまる文を「時間」「意見」という語句を使って書きなさい。

③

(1)	
(2)	•
(3)	

④

(1)	
(2)	A
	B
	C
	D
(3)	
(4)	①
	②
(5)	①
	②
	③

⑤

(1)	①
	②
	③
	④
	⑤
(2)	